



Implementing Cisco Collaboration Cloud and Edge Solutions v1.0 (300-820)

試験概要: Implementing Cisco Collaboration Cloud and Edge Solutions v1.0 (CLCEI 300-820) は、CCNP Collaboration 認定に関する試験であり、試験時間は 90 分です。この試験では、Cisco Unified IM および Presence、Expressway のコンフィグレーション、Cisco WebEx Teams の最新ハイブリッド テクノロジーなど、コラボレーション クラウドおよびエッジ ソリューションに関する受験者の知識が問われます。本試験の受験対策として、Implementing Cisco Collaboration Cloud and Edge Solutions コースの受講をお勧めします。

次に、この試験の一般的な出題内容を示します。ただし、試験によっては、ここに示されていない関連項目も出題される場合があります。試験内容をより適切に反映し、明確にするために、次のガイドラインは予告なく変更されることがあります。

- 25% 1.0 主要概念
 - 1.1 コラボレーション環境における NAT の複雑さについての説明
 - 1.2 ICE、TURN、および STUN の説明
 - 1.3 Expressway メディアトラバースに関する説明
 - 1.4 Expressway でのプロトコルの相互作用に関する説明
 - 1.4.a SIP <> H.323
 - 1.4.b IPv4 と IPv6
 - 1.5 Expressway のライセンスに関する説明
 - 1.5.a オプション キー
 - 1.5.b リリース キー
 - 1.5.c ライセンスの消費
 - 1.6 SIP メディア暗号化モードの説明
 - 1.6.a 自動
 - 1.6.b 強制暗号化
 - 1.6.c 強制非暗号化
 - 1.6.d ベスト エフォート
 - 1.7 Expressway Core ダイアル プランの各要素に関する説明
 - 1.7.a トランスフォーム
 - 1.7.b 検索ルール
 - 1.7.c ゾーン
 - 1.7.d 正規表現
 - 1.7.e パイプおよびリンク

- 1.8 Expressway の主要設定項目の説明
 - 1.8.a DNS
 - 1.8.b ネットワーク インターフェイス
 - 1.8.c 証明書
 - 1.8.d QoS
 - 1.8.e クラスタリング
 - 1.8.f ネットワークファイアウォール ルール
- 1.9 Expressway でのバックアップおよびリストア手順(スタンドアロンおよびクラスタ)の説明
- 25% **2.0 Expressway の初期設定**
 - 2.1 Expressway の主要設定項目の構成
 - 2.1.a DNS
 - 2.1.b ネットワーク インターフェイス
 - 2.1.c 証明書
 - 2.1.d QoS
 - 2.1.e クラスタリング
 - 2.1.f ネットワークファイアウォール ルール
 - 2.2 Expressway Core ダイアルプランの各要素の構成
 - 2.2.a トランスフォーム
 - 2.2.b 検索ルール
 - 2.2.c ゾーン
 - 2.2.d 正規表現
 - 2.2.e パイプおよびリンク
 - 2.3 Expressway シリーズでの電話料金詐欺行為防止機能の構成(カスタム CPL スクリプトを使用しない)
 - 2.4 Configure a Business to Business (B2B) コラボレーション ソリューションの構成
 - 2.4.a DNS レコード (Microsoft DNS に特化)
 - 2.4.b 証明書 (Microsoft CA に特化)
 - 2.4.c トラバースゾーン
 - 2.4.d ネイバーゾーン
 - 2.4.e トランスフォーム
 - 2.4.f 検索ルール
 - 2.4.g Cisco Unified Communications Manager を使用した SIP トランクの統合
 - 2.5 Configure a Business to Business (B2B) コラボレーション ソリューションのトラブルシューティング
 - 2.5.a DNS レコード (Microsoft DNS に特化)
 - 2.5.b 証明書 (Microsoft CA に特化)
 - 2.5.c トラバースゾーン
 - 2.5.d ネイバーゾーン
 - 2.5.e トランスフォーム

- 2.5.f 検索ルール
 - 2.5.g Cisco Unified Communications Manager を使用した SIP トランクの統合
- 25%** **3.0 Mobile and Remote Access (MRA)**
- 3.1 Mobile and Remote Access (MRA) ソリューションの構成
 - 3.1.a DNS レコードのタイプ (プラットフォーム非依存)
 - 3.1.b 証明書 (プラットフォーム非依存、Unified Communications Manager、IM&P、Expressways、Unity Connection をカバー)
 - 3.1.c Unified Communications のトラバースゾーン
 - 3.1.d Expressway での Unified Communications のコンフィグレーション
 - 3.1.e HTTP 許可リスト
 - 3.1.f Cisco Unified Communications Manager での SIP トランク セキュリティ プロファイル
 - 3.2 Mobile and Remote Access (MRA) ソリューションのトラブルシューティング
 - 3.2.a DNS レコード (Microsoft DNS に特化)
 - 3.2.b 証明書 (Microsoft CA に特化、Unified Communications Manager、IM&P、Expressways、Unity Connection をカバー)
 - 3.2.c Unified Communications のトラバースゾーン
 - 3.2.d Expressway での Unified Communications のコンフィグレーション
 - 3.2.e HTTP 許可リスト
 - 3.2.f Cisco Unified Communications Manager での SIP トランク セキュリティ プロファイル
- 25%** **4.0 Cisco WebEx テクノロジー**
- 4.1 Cisco WebEx Video Mesh の展開に使用されるシグナリングおよびメディアフローの説明
 - 4.2 WebEx ハイブリッド サービスおよびコネクタの構成
 - 4.2.a カレンダー サービス (Office 365、Microsoft Exchange、One Button to Push)
 - 4.2.b メッセージ サービス (導入要件、Expressway の要件、証明書、certificates、Call Manager の前提条件、IM&P の前提条件、展開モデル)
 - 4.2.c ディレクトリ サービス (導入要件; 展開モデル、インフラストラクチャーの要件、アクティブ ディレクトリのコンフィグレーション、同期、WebEx ユーザ サービスの割り当て)
 - 4.2.d Video Mesh (導入要件; 帯域幅、クラスタリング、エンドポイント サポート、ビデオコールのキャパシティ、ポートおよびプロトコル、展開モデル)
 - 4.3 Cisco WebEx Messenger を使用した Cisco Jabber のクラウドおよびハイブリッド展開の説明